



6月23日にリニューアルオープンした「みしまや上の木店」=松江市上乃木3丁目

農薬や化学肥料一切使わぬ「きこな野菜」取り扱い

リニューアルのみしまや上の木店

食品スーパーの㈱みしまや（松江市雑賀町、三島敏功社長）は、6月23日にリニューアルオープンした「上の木店」（同市上乃木3丁目）で、農薬や化学肥料を一切使っていない「きこな野菜」の取り扱いを始めた。「きこ」とは出雲弁で「頑固」という意味。地元生産者が丹精込めて作ったこだわりの野菜を販売する。

生産者は、アイガモ農法の普及・啓発に取り組み「島根合鴨（あいがも）水稲会」の会長も務める福岡忠士さん（67）は松江市八雲町IIをはじめ、同市や隣接する島根県東出雲町で農業を営む5軒。それぞれ独自の手法で野菜作りを行っているが、「農薬や化学肥料を使わない」という信条は同じだ。



こだわりの野菜が並んだ「きこな野菜」コーナー

こうした取り組みに関心を示したみしまやが、上の木店の「目玉」として出展を要請。福岡さんたちのこだわりをアピールするため、「きこな野菜」と命名した。一足早く、13、14の両日に松江市のくにびきメッセで開催された第4回食育推進全国大会の会場で、玉レタスやタマネギ、ニンニクなどを「きこ

「ベルカ」は▽介護▽救護▽入浴▽移乗用―と、用途に応じてサイズや素材が異なる。腕力ではなく、ベルトを使い体全体で持ち上げる構造となっており、緊急時には女性でも1人で担ぐことができる。誰でも簡単に使用可能で、普段は折り畳んでコンパクトに収納できるのも特長。福祉用具の研究開発などを行う財団

工場や屋外現場のセキュリティシステムを開発、販売する㈱松江安全（松江市八幡町、浅野富男社長）が、災害時の救護や介護現場などで使えるワンタッチ式ベルトタンカ「ベルカ」の取り扱いを開始し、販売を強化している。

緊急時、女性でも簡単 ベルトタンカの販売強化 松江安全

な野菜」として販売し、来場者の注目を集めた。23日の上の木店オープン初日には、これらの野菜に加え、ジャガイモやオクラ、トマトなども並び、午前9時の開店と同時に多くの主婦たちが買い求めた。福岡さんは「こだわりを持

った生産者が作った野菜を販売できる場所が必要だと思っていた。もつと消費者にPRしていきたい」と意欲を示した。売り場には、福岡さんの友人で、同じ八雲町に住む造形作家、藤田丈さん（68）がデザインした看板も掲げられている。

法人の登録商品にも認定されている。

同社は中国・四国地方の取扱代理店となり、昨年10月から取扱を開始し、人手不足の介護現場や病院など既に50カ所以上に販売した。最近では、自治体の自主防災組織の訓練で使い方の講習会を開くなどして、有用性を売り込んでいる。

◎問い合わせは同社 ☎0852 (37) 0009



松江安全が販売するワンタッチ式ベルトタンカ「ベルカ」